

# 2017年 新春ご挨拶

一般社団法人 日本加工食品卸協会  
会 長 國 分 晃



新年明けましておめでとうございます。  
2017年の年頭にあたりご挨拶申し上げます。  
全国各地の皆様におかれましては、つつがなく新春をお迎えのことと存じ、心よりお喜び申し上げます。

昨年は価値観の多様化と急速な意識の変化が世界的サプライズを引き起こし、不安定で不確実な時代に入ろうとする潮流の変化を感じました。未来の農林水産業・食料政策に大きな影響を与える「TPP」の発効も困難な情勢となり、我が国の新たな立つ位置を模索する必要にも迫られました。国内的には地震や台風などの災害も多く、経済活動にも多大な影響を及ぼしました。また食品流通業界の最大の課題と考えておりました、消費税 10%引き上げ時に、低所得者対策として導入が予定されます軽減税率制度が、景気の停滞から先送りされ、2019年10月となりました。食品流通の実態は、多岐で多様であり、裾野が広い業界ですので軽減税率制度を短期間で業界に周知・徹底するのは極めて厳しいと感じておりましたので賢明な政策的判断ではなかったかと思っております。

こうした中で弊協会は、業界のコスト合理化を目指して、引き続き共通インフラの基盤整備に注力する方針を掲げ、情報システム、物流、経理業務等の分野で業界の標準化に向けての活動に取り組みました。また将来的に業界として新技術の導入を具体化すべく調査、研究を行い、研修会等を開催しました。

さて、本年も社会構造の変化と消費環境の狭間で食品流通は、厳しい情勢が続くものと考えます。また労働力不足による物流費の増大等、コスト環境への対応も業界として重要な課題となります。こうした環境ではございますが販売手法が高度化し、チャンネルが拡散すればするほど全体最適化を目指す卸の調整的役割は大きいものと考え、もっている流通の知識とクリエイティブな知性との融合を目指して、難局に対処し、中間流通ならではの創造的機能を発揮して食品流通の健全な発展に寄与して参りたいと考えております。

最後に本年も関係各位に一層のご指導・ご鞭撻をお願いしますとともに、本年が皆様方にとってよりよい年になりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。